

## 建物が移動するエキシビション

# ノマディック美術館

写真……シヨバラタク 文……編集部

2007年春、お台場の空き地に152個にもおよぶ鉄製コンテナが積み重ねられた。それは、アーティスト、グレゴリー・コルベールによる作品展「Ashes and Snow」のための美術館。

遊牧を意味する「ノマディック美術館」は、その名のとおり世界を巡回している。そのこと自体は珍しいことではないが、ほかの展示会と何が違うのかというと、作品だけでなく展示場である建物も移動してしまうのだ。作品展が世界を旅するごとに、訪れた港でコンテナを調達し組み立てる。まるでサーカス小屋のように、何もなかった空間にノマディック美術館が出現する。それは「決してひとつとところにとどまることのない環境をもたらす持続可能な建造物を創る」という構想によるもの。ニューヨークで初めて披露され、その後、サンタモニカへと移動し、東京では2007年3月11日から6月24日まで開催された。

この美術館の設計をグレゴリー自身から依頼されたのが、世界的に活躍している建築家・坂茂氏である。青い空に映えるカラフルなコンテナが積まれた外観とは対照的に、内観は薄暗く、通路の両側には円柱が並び、神殿を思わせる厳かな雰囲気も漂っていた。回廊の両わきには作品が展示され、野生動物と人間との交流をとらえた写真が見る人を驚かせる。建造物による内外のギャップと想像を超えた作品とで、訪れた人を神秘的な世界へと誘う不思議な空間が生まれていた。

次の巡回先はメキシコ・シティ。2007年12月15日から2008年4月27日まで、ソロイカ広場で開催される。



# TOEXは地域の魅力を生かした 空間づくりをサポートします

年を追うごとに、人々の環境に対する感心は高まりを増しています。

自然を感じながらも便利で安全な居心地の良い空間。

それは、日々の暮らしの場を中心に旅先や仕事場など、あらゆる環境に求められていること。

ここ最近、そんな時代の要望に応えるかのように各地で再開発や環境整備がみられるようになり、

特に地域性を生かした魅力的なスポットが誕生しています。

TOEXでは全国に支店を設け、地域の方々とコミュニケーションを取りながら

現場に最適な商品を提供するよう務めています。



新しくなった石垣港離島ターミナル。TOEXのシェルターが快適な旅へと導きます

## 石垣港 離島ターミナル

沖縄県石垣市



## 光り輝く 八重山の風景

石垣港は、沖縄本島から約410km離れた石垣島にあり、日本最南端に位置する港です。八重山群島で暮らす人々の交流・交通の拠点であり、沖縄本島や台湾などからは大型客船や貨物船が行き交う重要港でもあります。

青く澄んだ海をはじめ、豊かな自然に恵まれた八重山群島は、沖縄を訪れる大きな魅力のひとつとなっています。そんな離島への旅の玄関口として2007年1月末に石垣港離島ターミナルが運用を開始。石垣島から西表島、竹富島、小浜島、黒島、波照間島、鳩間島の各離島へ渡るための桟橋を、これまで使用されていた場所から200mほど移転し、待ち合いロビーを設けた平屋建てのターミナルとして装いも新たにオープンしました。施設内には、ほかに土産店なども並び、情報発信センター「どうもーるネットセンター石垣」では3Dアニメーションなどの映像や写真などで八重山の情報を紹介、乗船までの待ち時間を楽しく過ごせる空間となっています。

港には旅客船が発着するための浮き桟橋が数基設けられ、その桟橋と施設間の歩道にTOEXのシェルターが設置されています。総延長180m続くシェルターの屋根材には、強い日差しを遮るためのアルミ板と、ところどころに祭りや植物など八重山地方の伝統的な図柄を模したステンドグラス調のFRP板を配し、沖縄らしい雰囲気 연출しました。降り注ぐ日の光に明るく照らされた八重山の風景が、人々を離島へと導きます。

### ☑ アクセス

石垣空港から車で約10分

### ☑ 商品データ

「シェルター」クレフヤードFXA型（特注）



色彩豊かなステンドグラス調の屋根を用いた特注のシェルター

右ページ上 / 桟橋への出入口は待ちスペースとしての役目も  
右ページ下4点 / ハーリー、ウミガメ、ハイビスカスの花など八重山にちなんだ13種類の図柄を楽しめます



# 宍道湖 夕日スポット

島根県松江市



車止めはベンチの機能も備え、腰掛けて宍道湖の風景を満喫できます



夕日テラスから眺める夕景の美しさは日本屈指



湖に沿って続く歩道は大人が数人並んで歩ける広々としたスペース

## 湖に沈む 美しい夕日を眺める

島根県東北部に位置する宍道湖。松江市、出雲市、簸川郡斐川町にまたがり、周囲約45km、国内で7番目の面積を誇ります。

夕日が美しいことでも有名で、日没約30分前から、夕日に赤く染まる宍道湖の風景を楽しむことができます。なかでも松江市袖師町は夕景が美しいスポットとして人気が高く、湖畔に佇む島根県立美術館はNPO法人「日本列島夕陽と朝日の郷づくり協会」による「日本の夕陽百選」

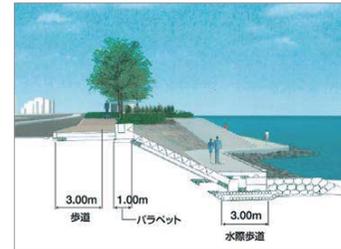
に選定されたほど。

そのため、これまで湖沿いの国道9号には、夕景の観賞と撮影を目的に多くの人々が訪れ、歩行者が車道にはみ出してしまう、路肩駐車が出来ない、といった問題が指摘されていました。国土交通省は、これを改善するための周辺整備を実施。2007年3月に完成したのが「宍道湖夕日スポット」です。

国道9号には通行者と観賞・撮影者で混雑しないための歩道を、湖の水辺沿いには親水性を高めるための「水際遊歩道」を、それぞれ幅員3mで設けました。観

賞・撮影のためのスペースとしてつくられた「夕日テラス」は延長約100m、幅員約11mの階段式のスロープで、国道9号の歩道から水際遊歩道まで下りられるようになっています。そしてスロープの階段護岸には、座って観賞できるようにTO EXのベンチタイプの車止めが湖に向かって置かれています。

景観を生かす、シンプルかつ場所を取らないスリムなデザイン。ベンチにちょっと体を預ければ、夕日が沈みゆく様子をゆっくりと眺められます。



### アクセス

JR山陰本線松江駅から市営バス南循環線、袖師町下車

### 商品データ

「車止め」おもしろタウンTK-2型 「柵」STE



柵は車道に夕日の鑑賞者があふれるのを防ぐ役目も果たしています

# 東京 ミッドタウン

東京都港区



榎町公園の日本庭園にはこんな休み処も



公園沿いに続く坂道。長い階段に手すりは欠かせません



## 緑と共存する 都心の人気スポット

2007年3月にオープンした「東京ミッドタウン」。2000年、防衛庁（現防衛省）本庁の市ヶ谷移転に伴い10haもの広大な土地が、大規模な開発により「働く、住まう、遊ぶ、憩う」ための環境が一体となった複合都市へと生まれ変わりました。オフィス、ショップ、ホテル、美術館などが入った6つの建物のほかに、4haにも及ぶ緑のオープンスペースを設けています。

さらに、歴史を江戸時代までさかのぼれば、当時この地は長門萩藩・毛利家下屋敷でもありました。敷地に榎が多く植えられていたことから榎屋敷とも呼ばれ、江戸のまちを一望できる名園「清水亭」を有していました。その庭園跡が、オープンスペースの一角港区榎町公園です。当時



都心にありながら緑に恵まれた環境で、小さな子ども連れの家族や年輩者も訪れる和みの空間

を思わせる日本庭園は池や小川のある落ち着いた空間。対して、その横にはアーティスト・高須賀昌志氏による滑り台やブランコ、プレイジムといったモダンアートが置かれた芝生が広がります。

親子連れてにぎわうこの公園の階段に、TOEXの手すりが添えられています。石段の中央に配した2段式の手すりは、足もとのおぼつかない小さな子どもをしっかりとサポート。そして、シルバーに輝く手すりを伝って下りると左手に乃木坂方面

へと延びる閑静な坂が。ゆるやかに続く坂道にもTOEXの木目調の手すりが設置され、場の雰囲気に溶け込みながら、道行く人に安心感を与えています。

### アクセス

都営大江戸線・東京メトロ日比谷線六本木駅より直結

### 商品データ

「手すり」サポートレール1型、2型（旧仕様）



気持ちの良い海辺の空間は新しい人気スポット

## 豊洲二丁目地区春海橋公園

東京都江東区



### 海辺に誕生した 快適空間

晴海運河などの水上資源と造船ドック跡地の産業遺産を活用し、東京の新しいウォーターフロントとして開発されている豊洲地区。銀座や丸の内、汐留といった都心から程近いアクセスのよさと海辺という恵まれた環境から、高層マンションの建設が進み、新興住宅地としても人気を集めています。

そして、この一帯のランドマーク的存在ともいえるのが、2006年10月にオープンした「アーバンドックららぽーと豊洲」です。かつてIHI(旧石川島播磨重工業)の造船ドックだったスペースには、160にも及ぶショップやレストランなどの店舗のほか浮世絵美術館、「キツニア東京」といった話題のテーマパークも備わり、都市部では類を見ない大型商業施設となっています。2007年には隣接して春海橋公園もでき、ショッピングもできる憩いの場所として、多くの家族連れ

でにぎわっています。

まだ、その名をあまり知られていない春海橋公園は、春海橋から豊洲公園に渡り、海に面して開かれた気持ちのよい空間。ららぽーと豊洲と隣接しているため、施設の一部と思われることも多いのですが、都立の水上公園として開園しました。

商業施設と並行するペイウォークからTOEXの手すりを伝って階段を下りれば、そこは東京湾の水面。海辺沿いにも手すりを設置してあるので、水際まで近づいても安心です。ベビーカーや車椅子の利用者はスロープで、身近に海を楽しむことができる、人にやさしい和みの新スポットです。

#### ▶ アクセス

東京メトロ有楽町線豊洲駅下車

#### ▶ 商品データ

「手すり」サポートレール3型(特注)  
「柵」DK1型(特注)



生まれ変わった豊洲。話題のウォーターフロントを眺めながら散歩を楽しめます

水際まで近づくことも。柵の向こうには東京湾が広がります



ららぽーと豊洲と続いているので、階段を下りればそこは春海橋公園

# ユニバーサルデザインの

# 先駆者 (オピニオンリーダー) を目指して

【.....語り手.....】

屋外用の手すりとして画期的な「サポートレールUD」の開発を機に、TOEXの環境エクステリア事業ではユニバーサルデザインへの取り組みを、これまで以上に積極的に進めています。それは「商品中心ではなく、人を中心としたものづくり」の考えからきています。人にやさしい環境づくりのために、TOEX環境事業がこれから進む方向とは。開発部と営業部のトップふたりが語ります。



川崎善幸

1950年生まれ。執行役員 環境エクステリア営業部長



渡辺康晴

1958年生まれ。商品本部 環境開発部 部長



## きっかけとなった サポートレールUD

渡辺：2006年10月に、ユニバーサルデザインの手すり「サポートレールUD」を発売しました。この商品の前身となる「サポートレール」は、1999年に1型を発売して以来の人気シリーズです。当時はバリアフリーがうたわれはじめたころで、歩行用補助手すりを設置すること自体が、人にやさしい環境づくりになっていました。サポートレールは、ほとんどの手すりが地場の鉄工所などで製作されていた時代に、ユニット化したものを現場で組み立てられるようにしたことでヒットし、その後シリーズ化される定番商品となりました。TOEX環境事業にとっても「手す



サポートレール1型 (モエレ沼公園)

り」のあり方について、関心をもって取り組みは始めるきっかけとなる貴重なものでした。そして、これからの時代にふさわしい新しいサポートレールとして開発されたのがサポートレールUDです。

開発にあたり、まず「ユニバーサルデザインとはいったい何なのか？」というゼ

ロからのスタートでした。社内だけでは限界があるため、外部からブレーンを探して専門家による勉強会を開くことから始めました。そしてユニバーサルデザインとは、決まったスタイルとして構えることではなくデザインを評価する仕組みであり、できあがった商品がすべての人々に使いやすいことが、結果的にユニバーサルデザインにつながっていくのだと学びました。そこで、開発部の若手ふたりが都市部を中心に30カ所以上の手すり現場をリサーチし、また、幅広い年齢層の方々や障害者によるユーザー評価会を実施するなど、「あらゆる人に使いやすい手すり」の開発のために長い時間を費やしました。このことは、今後の商品づくりにも生かすことができるいい経験となりました。

川崎：サポートレールUDは、「Nelsis ネルシス (Nature・自然+Element・自然力・恵み+Oasis・やすらぎ空間)」という指針を模索していくなかで生まれた商品だと思っています。TOEX環境事業が「人と自然がともに呼吸しあえる総合的な環境づくり」を目指し、ただの商品提供ではなく、人を中心としたものづくりをしていくことで、人にやさしい環境づくりに結びつく。そんな商品を求めて出てきたのがサポートレールUDであり、広い意味でのユニバーサルデザインであった。

開発部からサポートレールUDについて報告を受けたとき、その背景から、これは素晴らしい商品になると直感しました。営業部としても、これまでのカタログ掲載にとどまらず、プレス発表をしたり雑誌広告を打つなど、そのよさを積極的にアピールすべく販売戦略や広報活動を行っています。手すりとしては珍しいユニバーサルデザインとあって、発表時には新聞をはじめとするさまざまなメディアで紹介されました。おかげで、営業先にもカタログをお渡しする以前に認知していただき、サポートレールUDをより印象づけることに成功しました。

### 商品現場から生まれる

川崎：TOEX環境事業ではカタログに載っている規格品のほか、お客様の要望に合わせた特注品も扱っています。それは



パラレルAL型。ユニバーサルデザインを取り入れた引戸



サポートレールUDが設置された福岡県の新飯塚駅前広場

人に快適な環境づくりを目指す企業として、現場の状況を踏まえた価値のある商品を提供したいという気持ちからですが、TOEX環境事業にとっても新たな商品開発につながり、そこから生まれた商品は、市場で評価されるというよい結果をもたらしています。サポートレールも、もとは現場の営業からの要望で商品化されたものです。

最近、高齢化や都市のバリアフリー化に関する法整備が進み、ユニバーサルデザインの需要が高まっています。卵形ビームを採用したサポートレールUDは、まさに時代を反映した商品で、おかげさまで高い評価を得ています。しかし、これ

まで2段ビームタイプひとつのデザインしかなく、価格も他のサポートレールに比べて高めなため、爆発的に売れるということはありませんが、じわじわと売り上げを伸ばしていつている、というのが現状です。そこで、発売から1年がたち、さらなる市場の声に応えるべく、2007年9月に発売したのが1段ビームタイプです。2段ビームタイプより高さを5cm低くし、ユニバーサルデザインの要素を壊さずに低価格化を実現しました。1段ビームタイプもまた、現場から生まれた商品なのです。これからも、使い手の声に耳を傾けた商品開発をして、広くユニバーサルデザイン商品を定着させていきたいと考えています。

渡辺：サポートレールに限らず、例えば公園の入り口用に、車椅子を入れてバイクの進入は防ぐ車止めなど、いままで、営業部からのリクエストでつくった商品はいくつかあります。開発部では商品をつくるまで、なかなかその後が見えてこない。営業部から、お客様の要望や商品の不具合などの情報発信があるからこそ、それを開発や改良に反映させていくことができるのです。これまでもTOEX環境事業では、市場の要望に応え、ユニバーサルデザインに取り組んだ、人にやさしい商品づくりを行ってきました。ただ、そ

### NETIS\*でサポートレールUDの新技术を情報公開

あらゆる人に使いやすい、使い手の立場に立つて開発された「サポートレールUD」。歩行補助手すりとしては、画期的なユニバーサルデザイン。ユニークな持ち手の「卵形ビーム」をはじめ7つの特長により、人にやさしい使い心地となっています。これらの特長などサポートレールUDに採用されている新技术を、国土交通省の新技术情報提供システム「NETIS」で情報公開しています。

### サポートレールUDの7つの特長 (特許出願中)

#### 1 卵形ビーム



支え歩きときには、手首をひねることなく手のひらにフィットして握ることができる。広い歩きときには、手のひらを添えて滑らせやすく、また指を掛けやすい。

#### 2 端部のUエンド



かばんや袖口が引っかかりにくく、小さな子どもがぶつかっても安全性が高い。

#### 3 エンドグリップ



端部での滑りを防止するとともに、目の不自由な方への「手すりの終わり」を伝えるサインとなる。

#### 4 樹脂カバー



樹脂カバーでビームを被覆しているため、夏の熱さや冬の冷たさを感じにくい。

#### 5 ブラケット



ボルトの露出がなく、ビームとの連結部がスロープ状になっており、広い歩きときの、指の当たりを考慮。

#### 6 フロントビーム



上段と下段のビームの張り出し幅がずれているため、どちらのビームも握りやすい。

#### 7 フリージョイント



目の不自由な方へ、通路の変化を事前に伝えるとともに、直角コーナーなどで指が正面へ衝突するのを防止する。

\*NETIS (New Technology Information System) とは、国土交通省が運用している、民間事業者などにより開発された新技术にかかわる情報を、共有および提供するためのデータベース。これらの新技术を情報公開し、公共事業などに積極的に活用しようという試みです。NETISは平成10年に登録を開始し、現在の累計登録件数は4600件を超えていますが、品質向上および各技術情報の提供期間を設けているため、掲載されている技術数は約3300件となっています。新技术を活用した直轄工事件数は増加傾向にあり、発注工事総数に占める割合は、2006年度で20%以上に達しています。  
NETIS : URL <http://www.kangji.ktril.mlit.go.jp/EvalNetis/Newindex.asp>

のことを特にならなければなりません。サポートレールUDは、ユニバーサルデザインをわかりやすく打ち出した商品。これを機に、ほかの商品についても、ユニバーサルデザインという特長を明確にしていきたいですね。

2007年11月には、サポートレールUDに続き、アルミニウムレールキャスト式引戸「パラレルAL型」が発売されます。専門家を交えて、旧タイプのパラレル口の見直しを実施しました。従来と比べて把手を大型化し、開閉もスムーズに、誰が使っても安心、安全な設計になっています。

### 環境エクステリアのオンリーワン企業に

渡辺：今後、すべての商品をユニバーサルデザイン化していきたいと考えています。TOEX環境事業でユニバーサルデザインのスタンダードをつくり出したい。そのためには、自分たちだけで商品開発できるようにデザイン評価の仕組みを習得し、比較手法や使い手による評価の方

法も検討していかなければいけません。

これまでの画一化されたスタイルから脱し、いま、地域の特徴を生かしたまちづくりへと変化しています。他社と同じ環境商品をつくっている、そのうち取り残されてしまうでしょう。これからは、選ばれる時代。いままで評価されてきた側面と、新しいこれからの側面を持ち合わせたTOEX独自の商品づくりをしていく必要があります。そのためには、営業部と開発部の連携が欠かせません。営業部と開発部で、定期的に話し合いの場を設けていますが、ユニバーサルデザインの勉強会もそのくらいの頻度で行い、連携プレーでよりよい経営体制を整えていく流れをつくりたいですね。

川崎：これまでは、発売時期に合わせて商品開発を進めてきましたが、いいものをつくるには、納期を気にせずものづくりができる環境を整えるべきときなのかもしれません。お互いに納得した商品ができてこそ、積極的に営業もできると思っています。

売り上げをみると、民間事業のほうが

公共事業より高くなってきています。それは、郵政民営化をはじめ、徐々に民営化が進んでいるための成り行きでしょう。他社を意識した戦略方法もありますが、これからは世の中の変化をとらえた、TOEX環境事業ならではの動きをすべきだと思います。そうしたときに「ユニバーサルデザインならTOEX」という存在になりたい。デザイン・コスト・品質に、ユニバーサルデザインをプラスして商品開発および改良を行っていき、そこから生まれた「人にやさしい商品」を、使い手の立場に立つて営業する。手すりをはじめ、フェンスやシェルター、引戸などの環境エクステリア商品は、人が絡む商品。そのため、現場に合わせた細やかな対応が求められます。その点については、TOEX環境事業は、お客様の皆様から高く評価していただいています。

今後は、ユニバーサルデザインに取り組んできた以上に優れた商品を開発し、得意の営業力でTOEXならではの商品展開を進め、変化を起こしていきたいと思っています。

# 駒ヶ根展示場KAP<sup>カップ</sup> リニューアルオープン



写真奥には新コーナーを計画中。2008年秋にグランドオープンの予定です



緑豊かな駒ヶ根の風景

## 自然のなかで実体験を

2007年秋、TOEXの中央研究所にあるKAP<sup>カップ</sup>（環境アメニティプラザ）がリニューアルオープンしました。KAPは体験型の屋外展示場。西に中央アルプス、東に南アルプスを望む長野県の駒ヶ根にあり、雄大な山々に囲まれた自然あふれる環境で、TOEXの商品を体験していただくことができます。

2000m<sup>2</sup>のスペースに「みちの風景」「まちの風景」といった空間を再現し、シーンに合わせた商品を設置。規格品のほか、特注品や未来型商品を設計例となるように配置しており、実際に歩いて商品に触れられ、現場での使い勝手を確認していただくことができます。

今回はKAPに「そらの風景」「多機能フェンスコーナー」が新しく登場しました。そらの風景では、環境エクステリア部門の指針である「ネルシス」をテーマに、自然に親しみりフレッシュできる空間を提案。多機能フェンスコーナーでは、公園や施設の隣地境界線に最適な目隠し・防音フェンスを紹介しています。もちろんKAPには、TOEXの新スタンダードであるユニバーサルデザインに取り組んだ手すり「サポートレールUD」も設置しており、その使い心地を実感していただくことができます。

また、さまざまな状況を体験していただけるように、電動車椅子や車椅子、自転車、ベビーカーなども用意しています。カタログだけでなく、KAPを体験することで、人にやさしい環境づくりに役立てていただきたいと思います。

ゆったりとお過ごしいただけるように、宿泊施設「見験学楽プラザ」も併設しています。

KAP 〒399-4393 長野県上伊那郡宮田村1972

【アクセス】JR飯田線駒ヶ根駅、または中央道駒ヶ根ICから車で約10分



リフレッシュできる空間を提案した、そらの風景



築山コーナー



展望台コーナー



宿泊施設・見験学楽プラザ

\*体験、宿泊のお申し込み・お問い合わせは、お近くの支店までお願いいたします。支店一覧は56ページに掲載しています。

プロダクト  
Product  
Message  
メッセージ

# 引戸

玄関口の安全を守りながら、出迎える気持ちを表す引戸。  
ときには施設の顔の役目も果たします。  
TOEXの引戸は、機能性はもちろんのこと、  
使う人、訪れる人の心に残る引戸を目指し、  
設計者の意向をくんださまざまなデザインにも  
挑戦しています。



引戸越しに見る校舎



パンチングパネルの透け感が楽しい



校舎脇の引戸からグラウンドを見る

## コルテン鋼でアクセント

### 北九州市立枝光小学校

福岡県北九州市

[アルミ複連台車式引戸] アベリードAL型 (3連、W6009-H1400)、(3連、W5509-1400)、アルミパンチング+コルテン鋼

北九州市の地場産業である鉄。ここでは腐食しにくいコルテン鋼を、校門の壁、引戸、植栽の立ち上がりに使い、連続するデザインでまとめたという設計者のアイデアを実現。工夫をこらした特注のデザイン引戸です。アルミパンチングパネルには、大きさの違う円がコンポジションされ、楽しい動きが生まれました。パンチングの穴に子どもの指が入らないよう安全面にも気を配り、検討を重ねて直径5mmにしています。校舎正面玄関、校舎わき、グラウンドわきの3カ所に引戸と片開き戸がつけられました。



既製品に再生木材でカバーリングを施すことで、オリジナルな引戸に生まれ変わる



木と黒の組み合わせが、家具のような温かい印象を生む



## 木の温もりを伝える

### 長野県稲荷山養護学校

長野県千曲市

[スチールノンキャスト大型門扉] NR両開き (W5400-H1400)、(W6000-H1400)、片開き (W1800-H1400)、再生木材仕様  
[アルミノレール引戸] ラングベールAL型 Bタイプ (W5000-H1400) マイルドブラック色、再生木材仕様

21世紀の循環型社会における建築事業モデルを示したいと、当時の田中県知事が力を注いだ稲荷山養護学校の改築工事。2007年4月に全面開校した校舎は、長野県産の木材をできるだけ使用したいという知事の意向を受け、木の温もりがあふれる校舎へと生まれ変わりました。校舎の設計はコンペで選ばれた長野県出身の建築家・北河原温氏。モダンなデザインに仕上がった引戸は、再生木材\*でカバーリングを施したもので、建物外壁とマッチし、全体として温かくやわらかいイメージをつくり出しています。

\*再生木材とは、木粉とプラスチックを原料として作られる、高耐久性をもつ複合材。





## 遠隔解錠できる引戸

### 三好町立黒笹小学校

愛知県西加茂郡

[ステンレスノンレール引戸] NTH (W9000-H1400) 電磁石錠  
[ステンレスプレス式大型門扉] (W6000-H1600)

駐車場入り口の9mの開口部につけられた引戸です。電磁石錠タイプで職員室から解錠がコントロールでき、安全性能もこれまでよりぐんと向上しました。コンクリート打ち放しのクールな校舎外観に、ステンレス引戸のシャープさがマッチしています。



大開口につけられた引戸は解錠が遠隔操作できる



グラウンドに続く通路につけられたステンレスの両開き戸



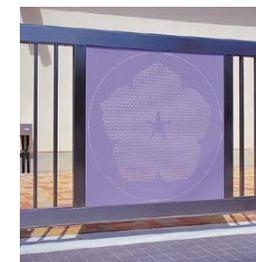
## ふるさとのイメージを取り入れて

### 名古屋市立吉根小学校

愛知県名古屋市

[ステンレスノンレール引戸] NTH (W6000-H1400) フラットバー、パンチングメタル入り

2007年4月に開校した新設の小学校です。学校名の吉根はこの地名ですが、由来は桔梗の読みが変化した、また、吉根音頭に「桔梗原から吉根の地名」とあるなどいろいろです。その桔梗を校章のデザインに取り入れ、同じ桔梗のモチーフを引戸のアルミパンチングパネルにかたどっています。薄紫の爽やかな色に仕上げた桔梗は、淡いクリーム色の校舎にやさしくとけ込んでいます。



## 日差しに輝く引戸

### いなべ市立藤原中学校

三重県いなべ市

[ステンレスノンレール引戸] ラングベールST型Bタイプ (W6000-H1400)  
[アルミ大型門扉] AMK2型 折戸仕様 (W3520-H1800) シャイングレー色

三重県の最北端に位置し、美しい山並みを望む山間の中学校です。2007年2月に新校舎が完成し、校門には、朝日に照らし出されるステンレスの引戸が採用されました。山並みを表現したアーチと組み合わせ、印象に残る風景をつくっています。





明るく高級感あるたたずまい

### 特別養護老人ホーム パライソごしき

福島県いわき市

【アルミ複連台車式引戸】アベリードAL型Bタイプ (2連、W5012-H1400)、(3連、W6009-H1400) 鋳物パネル、親子門扉 (W1200+W400-H1400)、シャイングレー色 (鋳物はゴールド)

世界のリゾートをイメージしたというこの施設は、リゾートホテルのような明るい外観に緑の木々がアクセントを添えています。入居者や来訪者の方々をお迎えする門には、リゾートの雰囲気を醸し出す文様の鋳物入り引戸を提案しました。落ち着きと高級感あるゲートになりました。

色とりどりの楽しさを添えて

### 相馬保育所

青森県弘前市

【アルミノンレール引戸】ラングベールAL型Bタイプ (W5000-H1200) 戸袋仕様、シャイングレー色

市町村合併に伴って五所保育所と相馬保育所が統合され、新しい相馬保育所が2007年2月に完成。メルヘンチックな建物に合わせて引戸には色とりどりの音符のアクセントが施され、楽しい雰囲気を伝えています。



いわきの海のイメージを表現

### いわき市立草野小学校

福島県いわき市

【ステンレス複連台車式引戸】アベリードST型Bタイプ (3連、W6500-H1400)、ステンレスパネル付

2007年3月に竣工した新しい体育館のまわりに、3カ所取り付けられた引戸です。体育館の屋根のアーチに呼应し、いわきの海をイメージした波型のパネルを引戸にも施しました。パネルは潮風に強いステンレス製にし、全体に軽やかなデザインに仕上がっています。

# PROFILE

## 協力者紹介



### 橋爪 紳也

はしづめ しんや

大阪市立大学都市研究プラザ教授。1960年大阪市生まれ。京都大学工学部建築学科卒業。大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了。建築史・都市文化論専攻。工学博士。イベント学会副会長、社団法人日本ディスプレイ業団体連合会理事、財団法人大阪21世紀協会企画委員などを兼任する。イベントやディスプレイ、盛り場や商業施設にかかわる総合的な研究を展開するとともに、各地で市民参加型のまちづくりを実践。著書に『あつたかもしれない日本』（紀伊國屋書店）、「ゆく都市くる都市」（毎日新聞社）ほか多数。



### 竹沢 えり子

たけざわ えりこ

銀座街づくり会議企画運営担当。東京生まれ。慶應義塾大学文学部卒業。出版社勤務、企画会社代表を経て、現職。銀座アートエクステンションスクール事務局。同時に、フリー編集者として、銀座やまちづくり関連の出版物の編集、著述活動に携わる。著書に『銀座 街の物語』（共著、河出書房新社）。



### 枝川 公一

えだがわ こういち

ノンフィクション作家。1940年東京生まれ。出版社勤務の後フリー。著書に『都市の歩き方』（北斗出版）、「ジョン・レノンを探して」（文芸春秋）、「サンフランシスコ旅の雑学ノート」（新潮文庫）、「銀座四丁目交差点」（二見書房）、「東京はいつまで東京でいつづけるか」（講談社）、「バーのある人生」（中公新書）など多数。現在、読売新聞東京版（木曜）に「東京ストーリー」連載中。



### 二見 恵美子

ふたみ えみこ

景観デザイナー。美術大学卒業後、デザイン関連の企業勤務を経て、英・米に留学。本場のランドスケープデザインを習得する。1988年、[E.M.I.PROJECT] 設立。「環境改善のための仕事」をポリシーに多くの都市のオアシスを創出している。都市緑化の視点からいち早く屋上緑化を提唱し、大正時代の洋館再生と屋上緑化の試みは、ビルを緑で蘇生することにとどまらず、地域の意識変化を生み出し、近代建築保存活動のきっかけをつくり国の文化財指定を受けるまでに。



### 長谷川 浩己

はせがわ ひろき

ランドスケープアーキテクト、オンサイト計画設計事務所代表取締役。1958年千葉県生まれ。81年千葉大学園芸学部環境緑地学科卒業。85年オレゴン大学大学院ランドスケープ・アーキテチャー修士修了。88～91年ハーグレイブス・アソシエイツ（米国）。91～98年ササキ・エンバイロメント・デザインオフィス。98年オンサイト計画設計事務所設立。現在、東京理科大学、法政大学非常勤講師。



### シバラ タク

しおばら たく

フォトジャーナリスト。アンビエント・デザインスタジオ代表。1989年多摩美術大学卒業。海外の都市計画、環境問題、アート、建築などについての写真と論説。「エスクアエア」「カーサ・ブルータス」「ランドスケープデザイン」誌ほかに掲載。92年APAビエンナーレ出品。2005年に写真集「BERLIN」（新風社）出版。06年『美術空間散歩』（エスクアエアマガジンジャパン）の写真を担当。

【撮影協力】石井雅義、白石ちえこ、西村 満（ニシムラ・スタジオ）、小澤純一（東甲メン）、石原洋一（相互企画印刷）  
【ディレクション】高山佳代子、百瀬かほる（フォンテル）【アートディレクション&デザイン】盛田尚弘



暮らしをつつむエクステリア  
トエクス

設計者のためのビジネスサイト「ネルシスネット」

<http://www.nelsis.jp>

ホームページで本誌のアンケート・バックナンバーの紹介を行っています。  
商品図面のCADデータサービスも行っておりますので、ぜひご利用ください。

本 社	〒160-0022 東京都新宿区新宿1-4-12	中 京 支 店	〒468-0011 愛知県名古屋市中天白区平針1-2105 TEL.052-807-5520
東 北 支 店	〒981-3135 宮城県仙台市泉区八乙女中央1-1-23 TEL.022-776-8562	関 西 支 店	〒560-0054 大阪府豊中市桜の町6-9-27 TEL.06-6844-9233
関 東 支 店	〒168-0073 東京都杉並区下高井戸5-4-41 TEL.03-3290-8560	中 国 支 店	〒731-3167 広島県広島市安佐南区大塚西3-3-51 TEL.082-849-5661
長 野 営 業 所	〒381-0024 長野県長野市大学南長池761-5 ビルドM1F TEL.026-263-0872	九 州 支 店	〒818-0134 福岡県太宰府市大佐野3-13-7 TEL.092-925-3230
静 岡 営 業 所	〒422-8035 静岡県静岡市駿河区宮竹1-13-18 TEL.054-238-3190		

\*本誌掲載内容および写真・図版の無断転載はかたくお断りします。



## STREET FURNITURE

全体に透明で軽い感じだが、連続するアール屋根が印象に残る

世界のストリートファニチャー..... ⑦

[ドイツ：フランクフルト]

文・写真／編集部

Deutschland

## アール屋根が特徴のバス停

フランクフルト市の都心を流れるメイン川沿いに「博物館通り」と呼ばれる通りがある。そこには、有名建築家による美術館や博物館がいくつも並んでいて、さながら建築博物館のようである。

1970年、それまで文化に対する支出が他の都市と比べて少なかったフランクフルトが、まちのイメージを一新するために、芸術のまちで名高いミュンヘンで文化局長として手腕を発揮していたビルマー・ホフマン氏を文化局長に迎え、文化を中心にすえた再整備に着手した。その結果、こうした文化エリアが誕生したのである。通りには周辺の雰囲気合った、かわいらしいデザインのバス停が点在し、歩行空間のアクセントになっている。透明なアール屋根とベンチだけというシンプルな組み合わせだが、しっかりその存在をアピールしている。



メイン川を挟んだ対岸は、高層ビルが建つ繁華街



ふたつ屋根のものもある

# 使いやすさと安全性に配慮した、 TOEXが考える引戸のユニバーサルデザイン。



アルミニウムノンレールキャスター式引戸

## パラレーロAL型

「使いやすい引戸とは？」 TOEXは使う人の目線に立って新しい引戸の開発に取り組みました。

新発売のアルミニウムノンレールキャスター式引戸「パラレーロAL型」は、大きめの把手に、

開閉もスムーズなユニバーサルデザイン。

機能性と安全性を兼ね備えた、人にやさしい引戸です。